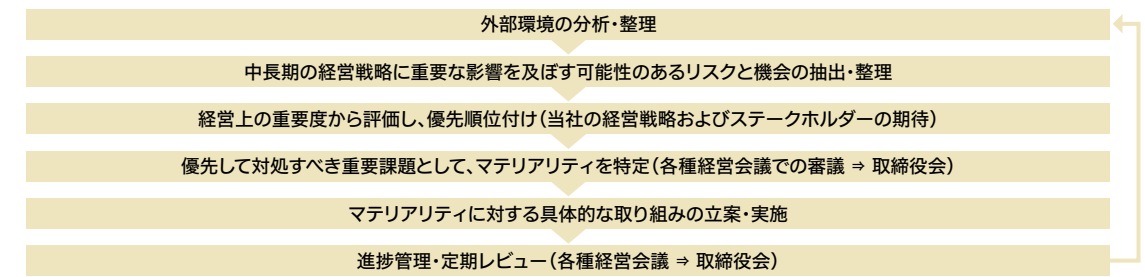


リスクと機会・マテリアリティ

大建工業グループの中長期の経営戦略に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクと機会に加え、これらを踏まえて優先して対処すべき重要課題として、マテリアリティを以下のとおり特定しています。特定にあたっては、各種経営会議における審議を経て、取締役会の決議により決定しています。またマテリアリティは、中期経営計画の方針、重点施策に連動させるとともに、目標を設定した上で取り組みを進めています。

リスクと機会・マテリアリティの特定プロセス



社会課題・ニーズ(外部環境・トレンド)
<p>気候変動・温暖化 生物多様性の喪失</p> <p>森林保全・伐採規制</p>
<p>資源の枯渇・争奪</p>
<p>日本政府成長戦略等</p> <p>グリーン転換フォーメーション (GX)</p> <p>脱炭素社会に向けた住宅循環システムの構築</p> <p>デジタル転換フォーメーション (DX)</p> <p>国土強靱化・次世代インフラ整備</p> <p>観光立国の実現</p>
<p>感染症の脅威</p>
<p>自然災害の脅威</p>
<p>日本国内少子高齢化</p> <p>人口減少、世帯数減少</p> <p>過疎化</p> <p>生産年齢人口の減少</p> <p>女性の社会進出の加速</p>
<p>世界的な人口増</p>
<p>安全保障環境の変化</p>
<p>サステナビリティ経営への要請</p>

リスク と 機会
<p>脱炭素の要請</p>
<p>木質資源の調達難</p>
<p>持続可能な木質資源を活用した素材ニーズ</p>
<p>代替資源への転換ニーズ</p>
<p>高齢者や子どもも安心して過ごせる空間ニーズ</p>
<p>地方創生・コンパクトシティ</p>
<p>良質な住宅ストックの形成</p>
<p>レジリエントなまちづくり・再開発プロジェクト</p>
<p>インバウンド需要の回復</p>
<p>コロナ禍を契機とした新たな日常</p>
<p>事業活動・サプライチェーンの寸断</p>
<p>人財不足</p>
<p>多様な人財が能力を発揮する機会の拡大</p>
<p>建設技能者不足を補う製品・工法開発ニーズ</p>
<p>国内新設住宅着工戸数の減少</p>
<p>海外の成長市場における質の高い住環境に対する継続的な需要拡大</p>
<p>資源・エネルギー価格の高騰</p>
<p>地政学的リスクの高まり</p>
<p>リスクと機会に対応し企業価値を高める経営力</p>

※「事業等リスク」の詳細につきましては、有価証券報告書に記載しています。

マテリアリティ
<p>資源循環・循環型社会の実現</p>
<p>ニューノーマル時代のユーザーニーズ</p>
<p>働きやすさ、働きがい向上による多様な人財基盤</p>

マテリアリティへの取り組み
<p>事業を通じた価値創造 (CSV)</p>
<p>01 木質資源の活用によるカーボンニュートラルへの貢献 ▶ P.23-24</p>
<p>02 国産木材の活用促進 ▶ P.25-26</p>
<p>03 未利用資源の有効活用 ▶ P.26</p>
<p>04 安全・安心・健康・快適な空間づくり ▶ P.27-28</p>
<p>05 省施工製品及び工法の開発 ▶ P.28</p>
<p>環境戦略 ▶ P.47-50</p>
<p>人財戦略 ▶ P.51-52</p>